

# しまね 教育魅力化ビジョン

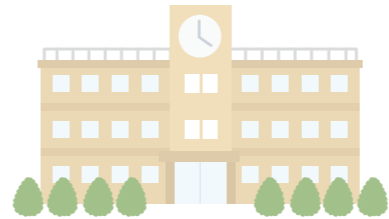
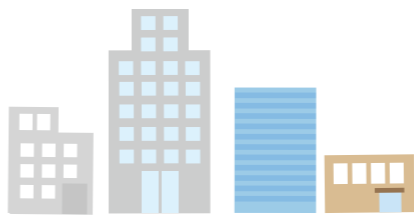

【計画期間 令和2年度～令和6年度】

## 基本理念

『ふるさと島根を学びの原点に  
未来にはばたく心豊かな人づくり』



島根県教育委員会

育成したい人間像	育成したい力
<p><b>学力を育む</b> 自ら課題や展望を見だし、粘り強く挑戦し学ぶ人</p> 	<p><b>学びの支えを築く</b> 基礎的な知識・技能を身に付け、生かす力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●基礎学力(基礎的な知識・技能)</li> <li>●学びを支える基礎体力や基本的な生活習慣</li> <li>●情報や情報通信技術(ICT)を学びに生かす力</li> </ul> <p><b>深め広げ豊かにする</b> 自分の考えや意見を構築し、伝える力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●未知の課題を発見し探究しようとする力</li> <li>●他者との対話や協同の中から、自らの思考を深める力</li> <li>●自分の考えや意見を構築し、伝わるように表現する力</li> </ul> <p><b>人生や社会に生かす</b> 夢や志を形成し、やり遂げようとする力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●学びを支える自分の夢や志を形成する力</li> <li>●失敗や挫折を恐れず試行錯誤を繰り返し、やり遂げようとする力</li> </ul>
<p><b>社会力を育む</b> 人とのかかわりやつながりを大切に、新たな社会を創造する人</p> 	<p><b>学びの支えを築く</b> 人々との交流から、自分の世界を広げる力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●家庭や地域で育まれる基礎的コミュニケーション力</li> <li>●家庭生活や地域の人々との交流から育まれる基本的な社会性</li> <li>●グローバル化の時代を生き抜く国際感覚とコミュニケーション力</li> </ul> <p><b>深め広げ豊かにする</b> 多様な人と合意形成を図り、物事を進めていく力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●自分とは異なる見方や意見をもつ多様な人との交流に柔軟に開かれた心</li> <li>●経験のないことにも、しなやかに向き合う力</li> <li>●学校生活、集団生活の中で育まれるリーダーシップとフォロアーシップ</li> </ul> <p><b>人生や社会に生かす</b> 相違や対立を乗り越え、新たな価値を見いだす力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●意見の相違や対立の向こうに、新たな解決を見いだそうとする力</li> <li>●家庭や学校、地域での自己の社会的役割を自覚し、人と力を合わせ協働する力</li> </ul>
<p><b>人間力を育む</b> 自然や文化を愛し、自他を共に大切にする優しく強い人</p> 	<p><b>学びの支えを築く</b> 多様な自然や文化を、知ろうとする力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●日本や世界の多様な自然や文化を、積極的に知ろうとする力</li> </ul> <p><b>深め広げ豊かにする</b> 見えにくいことにも気づき、考え行動する力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●自然や文化を享受するだけでなく、守り継承していく力</li> <li>●島根のよさや課題を自分のことばで表現し、人に伝えていく力</li> <li>●困っている人やうまくいかなさを抱えている人に気づき、理解しようとする力</li> </ul> <p><b>人生や社会に生かす</b> 人々や地域に感謝し、誰もが心地よい居場所を作ろうとする力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●豊かな自然や文化を味わうことのできる感性</li> <li>●自分を取り巻く人々や地域への愛情と感謝、ふるさとを誇りに思う気持ち</li> <li>●家庭や地域で愛されて育つことを通じて育まれる自尊感情</li> <li>●時代に沿った新たな規範を模索し、誰もが心地よい居場所を作ろうとする力</li> </ul>

担当 島根県教育庁総務課 TEL:0852-22-5403 FAX:0852-22-5400

島根県教育委員会ホームページに「しまね教育魅力化ビジョン」全文を掲載しています。

[しまね教育魅力化ビジョン](#)

[検索](#)

# しまね教育魅力化ビジョンを策定しました

- これからの社会は、人工知能(AI)をはじめとする急速な技術革新やグローバル化の一層の進展など、大きく変化することが予想されています。人口減少や高齢化が進む本県においても、子どもを取り巻く環境の変化は複雑で予測困難となってきています。こうした状況を踏まえ、今後の本県教育の基本理念や施策の方向性を示す「しまね教育魅力化ビジョン」を策定します。
- 「しまね教育魅力化ビジョン」の計画期間は、令和2年度から令和6年度までの5年間です。
- 市町村・市町村教育委員会等と連携・協働して、施策の実施に取り組みます。
- 学校・家庭・地域をはじめ、大学・企業・ボランティア・NPO・各種団体などの多様な主体と連携・協働して、県民一体となった施策の推進を図ります。

## 基本理念

### 『ふるさと島根を学びの原点に 未来にはばたく心豊かな人づくり』

子どもたちが自身の生まれ育った地域との確かな絆を原点として主体的な学びを立ち上げようとする本県の「教育の魅力化」の取組は、「ふるさと島根を学びの原点にもつ」という視点からとらえることに教育上の意義や重要性があります。

家族に愛され、地域の人々から大切にされて育つこと、また豊かな自然、歴史・伝統、文化、産業など地域の資産を直接経験することの中から、周囲の人々や生まれ育った地域を好きだと感じ誇りに思う気持ちが育ちます。それが自分の存在への感じ方に反映された結果、自分を肯定的に捉えようとする気持ち(自己肯定感)が育ち、そこを原点として、自分のしたいこと、すべきことを発見し、地域社会や日本の将来、あるいは世界の未来にはばたこうとする心豊かな人を育てたいと考えます。

そのために必要な教育として、地域社会のよい面ばかりではなく、人口問題をはじめとする深刻な状況、厳しい現実と向き合う力を育てることも重要であり、また、外から与えられる問題を解くばかりではなく、今後の社会では、自ら問題を発見したり解くべき課題を創ったりする力を育てる必要があります。そうしたふるさと島根での学びを自らの原点にもつ人は、県内に留まり島根の未来を創る人や、どこにいても島根を想う人、あるいは世界を島根に呼び込もうとする人に育つと考えます。

島根に育ち学んだ自信を胸に、自らの人生と未来を切り拓き、夢や希望を実現してもらいたい、こうした思いを学校・家庭・地域・行政など、教育に関わるすべての人が共有し、相互に連携しながら教育施策に取り組んでいきたいと考えます。

## 教育の魅力化



## 地域社会

誰もが安心して学び、共に挑戦できる魅力ある島根

## 教育の魅力化

### ◆「教育の魅力化」とは

島根の子どもたち一人一人に、自らの人生と地域や社会の未来を切り拓くために必要となる「生きる力」を育むため、学校・家庭・地域がその目標を共有し、協働を図りながら、島根の教育をよりよいものに高めていくことです。

そして、「教育の力を地域の力に、地域の力を教育の力にする教育活動」により、学校教育と地域社会との間の好循環を生み出そうとする理念を学校・家庭・地域が共有し、一人一人の子どもへの学びに向かう意欲を引き出し、「生きる力」を育むことが、島根らしい教育の魅力を高めることにつながります。

「生きる力」を育む際には、「学びの支えを築く(知識・技能)」、「深め広げ豊かにする(思考力・判断力・表現力等)」、「人生や社会に活かす(学びに向かう力・人間性等)」の3つの要素を個別に伸ばすのではなく、一人一人の学びに向かう意欲を引き出しながら、3つの要素を相互に関連させバランス良く育成しつつ、全体として高めていく好循環を確立することが大切です。

### ◆誰にとっての魅力なのか

なにより、子どもたちにとっての魅力であり、また、保護者、教職員、そして子どもたちや学校を支える地域の人々にとっての魅力でもあります。「子どもたちがもっと学びたい教育、保護者が学ばせたい教育、地域が応援したい教育、教職員の個性や主体性・多様性が生かされる教育」となることを目指します。

### ◆島根らしい魅力ある教育とは

豊かな自然、歴史・伝統、文化といった地域それぞれの魅力や教育資源(ひと・もの・こと)を生かす、地域に開かれた教育

学校・家庭・地域が一体となり、子どもたち一人一人の魅力や個性を伸ばし、自己実現を支援する、主体性と多様性を尊重する教育

温かな人のつながりや勤勉で粘り強い県民性を生かし、子どもも大人も共に学び続ける、対話的・探究的な教育

### ◆「教育の魅力化」推進のポイント

#### 教育目標の明確化

地域社会や世界の状況を幅広く視野に入れ、対話を通して地域の子どもたちに育成したい力(資質・能力)や教育の目標を明確化し、学校・家庭・地域が共有すること

#### 基礎学力の充実

発達の段階に応じて必要とされる知識・技能を習得し、活用する過程で、子ども自身が自分なりの試行錯誤を繰り返すことにより、必要に応じて使いこなせる基礎学力を確実に定着させること

#### 学校と地域の協働

子どもたちの育ちを学校内に閉じず、地域の人的・物的資源を活用したり、社会教育との連携を図ったりし、学校と地域が連携・協働しながらよりよい教育環境を実現すること

#### 異校種間の連携

保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等を貫いた一体的・系統的な教育活動を実現するとともに、一人一人の成長・発達に応じた校種間の連携を確実に行うこと

### 生きる力

#### 人生や社会に活かす!

夢や志を形成し、やり遂げようとする力  
相違や対立を乗り越え、新たな価値を見出す力  
人々や地域に感謝し、誰もが心地よい居場所を作ろうとする力  
(学びに向かう力・人間性等)

#### 島根への愛着と誇り 確かな学力

#### 学びの支えを築く!

基礎的な知識・技能を身に付け、生かす力  
人々との交流から、自分の世界を広げる力  
多様な自然や文化を、知ろうとする力  
(知識・技能)

#### 深め広げ豊かにする!

自分の考えや意見を構築し、伝える力  
多様な人と合意形成を図り、物事を進めていく力  
見えにくいことにも気づき、考え行動する力  
(思考力・判断力・表現力等)

### ◆「教育の魅力化」を進めるために

#### 地域協働体制の実現

「生きる力」は、学校だけで育まれるものではなく、多様な人々とのかかわりや、様々な経験を重ねていく中で育まれるものであり、子どもたちは地域とのつながりや信頼できる大人とのかかわりを通して、心豊かにたくましく成長していくことができます。一方、地域は、子どもたちの成長を軸に、学校と連携・協働し学び合うことにより、住民一人一人の活躍の場を創出し地域に活力を生み出すことができます。

#### 地域資源の活用

地域資源を活用した教育課程を構築することにより、学んでいることと社会とのつながりを意識しながら教科横断的に学びを深めることは、「主体的・対話的で深い学び」の実現にもつながります。

#### ふるさと教育 地域課題解決型 学習の推進

地域での実体験や、多様な人々との交流と対話的な学びを通して、学校等で学ぶことと地域や社会でよりよく生きることがつながり、学ぶ意欲や思考力・判断力・表現力等を育むことができます。

また、そのような地域の人々とのかかわりは、ルールやマナー、思いやりの心などこれまで取り組まれてきた「しまねのふるまい」をより高めていくことにもつながります。

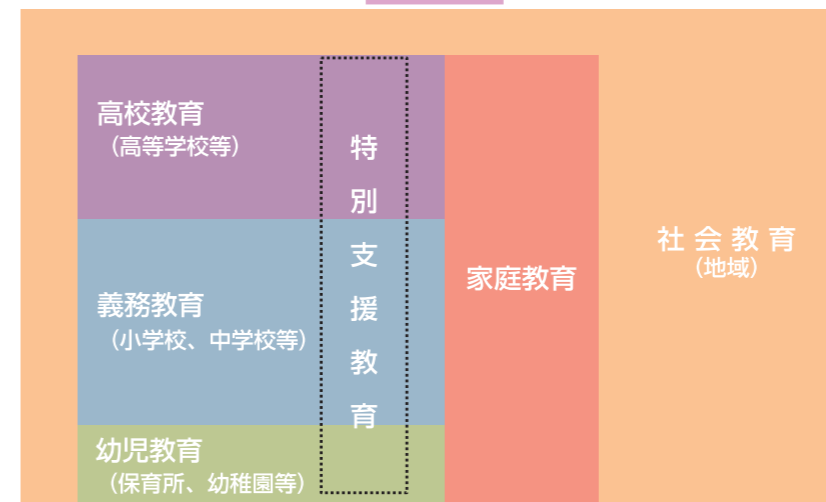
#### 「しまね留学」の推進

多様な価値観との出会いや、切磋琢磨を通しての視野の広がり、交流の拡大やコミュニケーション力の向上、島根の魅力や課題の再発見など、県内外の生徒への教育的効果の高い「しまね留学」を、市町村等と連携・協働しながら推進します。

### 教育の魅力化による次代を担う人づくり

地域に愛着と誇りを持ち、将来、地域や社会の役に立ちたいという人づくりを進めていくため、地域ぐるみ(学校・家庭・地域の連携)での教育を保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等を貫いた一体的・系統的に進めていくことが必要です。

### 未来にはばたく心豊かな人



**toward** 自分の未来に向かう  
自分の未来に「向かって」はばたくことです

**with** 地域と共に未来を描く  
地域と「ともに」自分の未来を描き・デザインしていくことです

**for** 地域のために行動・実践する  
自分を育ててもらった、自分が暮らしている地域の「ために」、行動、実践することです

**about** 地域について知る・伝える  
地域に「ついて」知る、調べる、考える、伝える学びなど、自ら行動することです

**in** 地域の中で体験する・浸かる  
地域の「中」に全身でどっぷり浸かり、様々な感覚を使って地域を体験することです

### 家庭・地域と連携・協働した学校教育の展開(右図)

育成したい人間像の育むべき目標である「学力を育む」「社会力を育む」「人間力を育む」の項目ごとに、発達の段階に応じて整理したものです。

# 家庭・地域と連携・協働した学校教育の展開

学力を育む・社会力を育む・人間力を育む

高等学校・高等部

社会・上級学校

中学校・中学部

小学校・小学部

就学前

## 自発的な遊びや生活を通して培う

- 見通しを立てて行動したり、思い切り体を動かしたりし、健康な生活を送る。
- 感動する出来事に出会い、それを絵や歌、踊りで表現する。
- できないことや自分でやりたいことを、工夫したり考えたりし、粘り強く取り組む。
- 友達と共通の目的の実現に向けて、工夫したり協力したりしてやり遂げる。
- 善悪があることに気づき、きまりを作るなど、友達も大切に協力する。
- 絵本などに親しみながら、話したり聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむ。
- 身近な事象に、工夫、予想してかかわったり、友達と新たな考えを生み出したりする。
- 遊びを通して、数や文字を親しみをもって使ったり、物の形や大きさ、量の感覚をもったりする。
- 身近な地域のひと・もの・ことに触れることで、地域や社会に親しみをもつ。
- 身近な自然に関心や愛情をもったり、生命を大切にしたい気持ちをもったりする。

## 学力を育む

- 身のまわりの生活や地域とのかかわりを通して知的好奇心、学ぶ意欲を高める。
- 発達段階に応じて必要とされる知識・技能を習得し、必要に応じて使いこなせるようにする。
- 家庭と連携して家庭学習の習慣化を図る。
- 学校図書館やICT機器等を活用し、伝える力や情報を集め整理する力、読み取る力を育む。

## 社会力を育む

- 身近な社会とのかかわりを通して、自分の夢や希望を膨らませる。
- 身近な地域について、知る、感じる機会を設定することで、関心を高める。
- 身近な地域の教育資源（ひと・もの・こと）に触れることで、ふるさとへの愛着や誇りを育む。
- 外国語教育などを通して多様な文化に触れ、親しみを感じられるようにする。
- 係活動や委員会活動などを通して、働くことの意義について考える。

## 人間力を育む

- 自分の好きなもの、大切なものを持ち、自分を信じる心を育む。
- 人や自然とのかかわりの中で、よいところを見つけようとする心を育む。
- 返事やあいさつ、時間や約束を守る等の、基本的なふるまいができるようになる。
- 様々な活動・体験の中で、自分の役割や責任を知り、役立つ喜びや自尊感情を育む。
- 自分と友達の違いに気づき、受け止めようとする態度を育てる。
- 様々な実体験を積み重ねて、たくましさ・しなやかさを育む。

## 学力を育む

- 実生活、地域・社会や将来とのかかわりを通して、学ぶ目的や意義を理解し、学ぶ意欲を高める。
- 発達段階に応じて必要とされる知識・技能を習得し、必要に応じて使いこなせるようにする。
- 自らの進路を考えた、主体的で計画的な家庭学習ができるようにする。
- 学校図書館やICT機器等を活用し、言語能力や情報を取捨選択して読み取り主体的に活用できる力を育む。

## 社会力を育む

- 社会との積極的なかかわりを通して、自分の特性、自分らしい生き方について考え、将来を想起する力を育む。
- 地域社会の実態に触れることを通して、地域と自分とのつながりや地域の課題等への関心を高める。
- 地域の教育資源を活用した学びを通して、ふるさとへの貢献意欲を育む。
- 異なる文化や考え方への関心を高め、自分の世界を広げようとする態度を育む。
- 職場体験やボランティア活動等を通して、勤労観・職業観を高め、助け合って生きる喜びを体感できるようにする。

## 人間力を育む

- 自分の長所や欠点に気づき、自分らしさを発揮しようとする心を育む。
- 集団でのかかわりの中で、他者を尊重しながら役割を果たそうとする心を育む。
- 返事やあいさつ、時間や約束を守る等の、場や状況に応じたふるまいが意識的にできるようにする。
- 様々な活動・体験を通して、集団の中での役割や責任の存在を意識し、人間関係を築く上で必要な力を育む。
- 互いの考えや立場を認め合い、協働していこうとする態度を育てる。
- 様々な実体験の積み重ね（成功・失敗・挫折など）を通して、学び続けていく力の基盤となる集中力、持続力、柔軟性を育む。

## 学力を育む

- 学びの先にある社会を意識し、自ら挑戦していく意欲を高める。
- 発達段階に応じて必要とされる知識・技能を習得し、必要に応じて使いこなせるようにする。
- 実社会や自らの将来に役立つ、専門的な知識や技能を育む。
- キャリア形成に向けた、主体的で、計画的な学習ができるようにする。
- 学校図書館やICT機器等を活用して情報を収集し、的確に対応できる力を育む。
- 生涯にわたる学びの基盤となる言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力を育む。

## 社会力を育む

- 社会との多様なかかわりを通して、自分の特性を生かした社会貢献のあり方を具体的に想起する力を育む。
- 他地域の実態や異文化に触れる機会を通して、多角的な視点でふるさとを捉えることで、ふるさとの魅力や課題に気づくようにする。
- 地域課題解決に取り組む学習を通じて、当事者意識をもったふるさとへの貢献意欲を高める。
- 多様な価値観を理解し、国際的な視野をもった行動、コミュニケーションができるようにする。
- インターンシップや企業見学、セミナー等を通して、地域社会のあり方や自らの生き方を考えるよう促す。

## 人間力を育む

- 多様なかかわりを通して、生命の尊さを感じ、他と共生しようとする心を育む。
- 挨拶や時間遵守等、社会で通用するマナーを身に付け、場や状況に応じたふるまいが自発的にできるように育む。
- 各種の体験的活動を通して、社会に主体的に参画していくために必要な力や態度を育む。
- 人権が尊重される社会を実現しようとする意欲や実践力を育む。

## in 地域の中で体験する・浸かる

- 様々な感覚を使って地域を体験する。
- 地域での「原体験」や「原風景」を深く、多くもつことで、愛着や郷土愛の土台を育む。

## about 地域について知る・伝える

- 地域の「ひと・もの・こと」に触れながら地域について、知る、調べる。
- 地域の歴史や文化、現代の課題、未来の姿などを調べ、考えることで、誇りや愛着を育む。

## for 地域のために行動・実践する

- 地域行事や地域のボランティア等へ参加する。
- 地域の課題を発見し、解決に向けた提案、課題解決への実践などを経て、自分たちも地域の役に立てる、地域を守り、創っていく一員だという自覚や当事者意識の醸成を図る。

## with 地域と共に未来を描く

- 地域のことと自分の未来を繋げて考え、自分という「個」の未来だけでなく、「地域」や「社会」の未来のことも考えるように促す。

toward

## 生活習慣・健康・体力

- 食事、排泄などの生活に必要な活動を自分でできるようにする。
- いろいろな遊びの中で伸び伸びと十分に体を動かすようにする。

## 生活習慣・健康・体力

- 自分の健康に関心を持ち、運動、食事、睡眠などの基本的な生活習慣の定着を図る。
- 運動遊びを通して、体を動かすことを楽しみ、いろいろな運動ができる力を育む。

## 生活習慣・健康・体力

- 生活リズムを整えるなど、自らの力で基本的な生活習慣の確立を図る。
- 運動部活動や体育行事など様々な経験を通して、運動に親しむ習慣を身に付ける。

## 生活習慣・健康・体力

- 社会的自立に向けて、生涯にわたり健康な生活を営むため、望ましい生活習慣の確立を図る。
- 健康の保持増進のため、主体的に運動・スポーツに取り組む力を育む。
- 生涯にわたり運動に親しみ、楽しむ力を育む。

- 優しく抱き、良いところをほめる。
- 子どもの話を聞き、気持ちを受け止める。
- 早寝早起きなどの基本的な生活習慣が、気持ちよい生活につながることを気づかせる。
- 自然の中で遊ぶなど、本物の体験をさせる。

- ほめて良いところを伸ばし、悪いことはきちんと諭す（叱る）。
- 子どもの話を聞き、会話を楽しむ。
- 基本的な生活習慣を自分で身に付けるよう促す。
- 自分の良さを知り、その良さを生かすことができるよう励ます。

- しっかりほめ、しっかり諭し（叱り）、励ます。
- 話を真剣に聞き、思いを受け止め、相談に乗る。
- 望ましい生活習慣のリズムが確立できるよう促す。
- 自分の良さを生かし、目標に向けて努力ができるよう相談し、励ます。

- 最良の理解者として、温かく見守り、支える。
- 人生の先輩として相談に乗り、アドバイスする。
- 自分のことは自分で計画・実践する大人としての生活リズムが確立できるよう支援する。
- 社会の一員として、自分が生かせる目標をもち、達成に向けてチャレンジできるよう、物心両面で支援する。

家庭

地域

ふるさと島根を学びの原点に 未来にはばたく 心豊かな人